

2006年4月18日

エンプラス半導体機器
インテル コーポレーションのプリファード・クオリティ・
サプライヤ(PQS)賞を受賞

会社名 株式会社エンプラス
代表者名 代表取締役社長 杉本 敏昭
(コード番号 6961 東証第一部)
TEL:048-253-3131(代表)

エンジニアリングプラスチックを応用した高精度・高機能機構部品及び製品の総合メーカーである当社のグループ会社「株式会社エンプラス半導体機器」は、このたび、インテル コーポレーションの2005年度プリファード・クオリティ・サプライヤ(PQS)賞を受賞いたしました。

今回の受賞は、インテルの事業成功において重要となる資材やサービスの提供で際立った功績をあげたことが認められたもので、インテルに対するバーン・イン・ソケット及びテストソケットの供給によるものです。なお、エンプラス半導体機器および他のPQS受賞企業25社は、3月21日に米国カリフォルニア州バーリンガムでの授賞式にて表彰を受けました。

今回の受賞について、エンプラス半導体機器の取締役社長である島根健夫は、「この度、株式会社エンプラス半導体機器が名誉あるPQS賞を受賞することができ、大変光栄に思います。2002年4月に株式会社エンプラスから分社して株式会社エンプラス半導体機器としてスタートし、PQS/SCQIを受賞することを目標とし、継続的改善を行う企業風土をつくってまいりました。インテルおよび業界に高い品質と顧客満足を提供し、2005年度PQS賞を受賞できたことは会社全体の誇りであり、大変勇気づけられるものであります。」と述べました。

また、インテル コーポレーション テスト部門担当ディレクターのナビッド・シャリアリ氏は、「2005年度PQS賞は、エンプラス半導体機器の品質、価格の面で優れ、業界をリードするバーン・イン・ソケット技術とインテルへの際立った支援を高く評価し贈るものです。」と述べています。

PQS賞は、サプライヤーに対して先進的かつ継続的な改善を奨励するために、インテル コーポレーションのサプライヤ・コンテニューアス・クオリティ・インプループメント(SCQI)プロセスの一環として設けられたものです。PQS賞の受賞には、サプライヤはコスト、品質、供給能力、納期、技術力および即応性のそれぞれに定められた目標を達成するための実績と能力を評価するレポート・カ

ードにおいて80%のスコアを獲得する必要があります。サプライヤは同時に品質向上計画や品質システム審査に対しても果敢に挑戦し、それを成し遂げることが求められます。SCQIに関するより詳しい情報は、<http://supplier.intel.com/quality> で入手できます。

インテルは、今回のPQS受賞企業を3月21日のウォールストリートジャーナルの米国、ヨーロッパ、アジア版にてリリースをしました。

●株式会社エンプラス半導体機器について

株式会社エンプラス半導体機器(2002年4月、株式会社エンプラスより分社)は、1986年よりインテルに対しバーン・イン・ソケット及びテストソケットの供給を開始しました。以後、インテルに対する半導体製品の継続したサポートにより同社とのビジネスを拡大し、また、多品種少量生産へのスムーズな移行により、バーン・イン・ソケット技術の第一人者となるべく事業を展開しております。

本件に関するお問い合わせ先	
<p>株式会社エンプラス 〒332-0034 埼玉県川口市並木 2-30-1 広報・IR室 Tel:048-253-3131 Fax:048-258-5532 E-mail:ir@enplas.co.jp</p>	<p>株式会社エンプラス半導体機器 〒330-0801 埼玉県さいたま市大宮区 土手町 2-15-1 営業部 Tel:048-643-7676 Fax:048-643-7671 E-mail:sp-sales@enplas.co.jp</p>